令和７年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

令和７年度事業報告目次

１　総括概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　サービス区分報告

＜社会福祉事業＞

法人運営事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
地域福祉活動事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
福祉サービス利用援助事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・１４
法人後見事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
共同募金配分金事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
社会福祉基金事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
資金貸付事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
生活福祉資金貸付事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
地域福祉ネットワーク事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・２０
外出支援サービス事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
配食サービス事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
居宅介護支援事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
老人福祉センター管理運営事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・２３

＜公益事業＞

地域包括支援センター事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・２４
生活支援体制整備事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
デマンド交通運営事業及び決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

＜その他＞

日本赤十字社活動と共同募金活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
その他の支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

令和７年度　事業報告

【総括概要】

地域共生社会の実現に向け、町総合サポートセンターや各関係機関と連携し、既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、複合的な課題解決に向け取り組みを行いました。今後も課題を抱える相談者やその世帯に対しては、生活状況を把握し、包括的な支援や地域住民等による地域福祉の推進を目指していきます。

令和３年度策定した『第２期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』においては、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会の開催や地域ふくし座談会（中学校区単位)、地域支え合い会議（新橋区、丸林西区）を開催し地域住民との情報交換と地域課題の把握の場を設けました。また、これからの野木町の地域福祉の推進・充実のために、町民の皆さんからご意見・ご要望等を広くお聞きするため、アンケートを実施し、その調査結果をもとに浮かび上がった課題・問題点の確認や現計画の振りかえり等を行いながら、次期計画策定に向けて準備を進めていきます。

権利擁護事業については、高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行う日常生活自立支援事業（あすてらす）に加え、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人を担い支援を行いました。近年、日常生活自立支援事業利用者の増加傾向や、また、成年後見制度への移行促進などが課題とされている中で、成年後見中核機関である町総合サポートセンターとの連携を継続し、総合的な権利擁護体制づくりを推進していきます。

災害時におけるボランティア活動を迅速・効果的に行うため、町ボランティア支援センター(登録災害ボランティア)、近隣市町社会福祉協議会職員との協働で災害ボランティアセンターにおけるＩＣＴの活用研修を実施しました。これからは、ＩＣＴの有効性を活かし、より効果的な災害支援活動ができるよう努めていきます。

今後も、誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていける地域共生社会を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実をすすめるとともに行政や各関係機関、団体等との連携を図りながら、地域住民と共につくる福祉社会の実現に努めていきます。

【令和７年度決算額[令和６年度決算額]】

■法人運営事業及び決算額

【49,557 千円[47,502 千円]】

１　事業の概要

法人の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）と連絡調整を図り、適正な運営を図った。

また、社会福祉法改正により、組織経営におけるガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

２　主要な施策

⑴　理事会、評議員会、監査会、評議員選任・解任委員会の実施

理事会、評議員会、監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（業務執行の決定、理事の職務執行の監督他）

第１回理事会（令和７年５月 30 日開催）		出席者：理事６名、監事２名
報告	第１号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第１号	令和６年度野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第２号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について
	第３号	令和７年度野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について

第２回理事会（令和７年６月 17 日開催）		出席者：理事９名、監事２名
議案	第１号	野木町社会福祉協議会長・副会長の選定について
	第２号	野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について
	第３号	野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

第３回理事会（令和７年８月１日開催）		出席者：理事 10 名、監事２名
議案	第１号	野木町社会福祉協議会表彰並びに感謝状候補者の選考について
報告	第１号	野木町社会福祉協議会長の職務の執行状況について
	第２号	ふくしのつどいのぎ 2025 の開催について

第4回理事会（令和8年3月19日開催）		出席者：理事8名、監事1名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	野木町社会福祉協議会居宅介護支援事業所休止（廃止）について
	第2号	令和7年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第3号	野木町社会福祉協議会諸規程の一部改正について
	第4号	令和8年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第5号	令和8年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第6号	野木町社会福祉協議会における苦情解決の第三者委員の選任について
	第7号	令和7年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会(令和7年6月17日開催)		出席者：評議員14名、監事1名
議案	第1号	令和6年度野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について

第2回評議員会（令和8年3月30日開催）		出席者：評議員20名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	令和7年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	野木町社会福祉協議会規程の一部改正について
	第3号	令和8年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第4号	令和8年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について

③監査会の開催（理事の職務執行の監査、業務及び財産状況に係る監査）

監査会（令和7年5月19日開催）		出席者：監事2名
内容	令和6年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和7年6月17日開催）		出席者：委員4名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

⑵　会員増強の強化（７月）

地域福祉活動についての理解を深めるため、広報活動や情報発信を行い、会員加入の増強に努めた。

町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間７月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
特別会員	28	36	38	31,500	40,000	41,000
普通会員	5,845	5,601	5,367	2,923,000	2,800,500	2,683,750
寄付	387	438	294	115,900	139,120	75,626
その他会員	1	1	0	1,000	1,000	0
賛助会員	27	16	29	140,000	95,000	153,000
合計	6,288	6,092	5,728	3,211,400	3,075,620	2,953,376

⑶　広報活動

様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

①社協情報誌『ぽけっと』…年４回（４月・６月・10月・１月）発刊

号　数	発行日	記事内容
145号	４月24日	令和７年度事業計画･予算、みつけた！地域のつながり⑫、えんじゅクラブ通信（友沼下中寿会)、出張講座、おれんじカフェ、赤十字運動月間のお知らせ、老人福祉センター生きがい講座のお知らせ、スマホ教室の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
146号	６月26日	令和６年度事業報告・決算、えんじゅクラブ通信（卯ノ木クラブ)、みつけた！地域のつながり⑬、地域ふくし座談会の募集、令和７年度野木町社会福祉ボランティア連絡協議会全体会・全体研修会の報告、おれんじカフェ、エンディングノート「結び帳」の配布、小学生チャレンジスクール&ボランティアサマースクールの募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
147号	10月23日	令和７年度日本赤十字社会員募集実績報告、ふくしのつどいのぎ2025報告、小学生チャレンジスクール&ボランティアサマースクール報告、地域ふくし座談会報告、ひとりぐらし高齢者交流会の案内、えんじゅクラブ通信、みつけた！地域のつながり⑭、おれんじカフェ、スマホ教室の案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
148号	１月22日	令和７年度野木町社会福祉協議会会員募集実績報告、令和７年度赤い羽根共同募金実績報告、貸付制度の案内、赤い羽根共同募金について、ホープ館図鑑、えんじゅクラブ通信、みつけた！地域のつながり⑮、おれんじカフェ、シニア世代の社会参加・ボランティア養成講座の募集、出張講座、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

②ホームページ…年間公開

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
アクセス件数（件）	6,864	5,960	5,540

③SNS（X（旧 Twitter）…随時更新

⑷ 福祉サービスの運営適正

苦情解決に関する規程に基づき、本会が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、第三者委員や苦情受付担当者を配置した。

第三者委員構成　人権擁護委員 1・民生委員児童委員 1・学識経験者 1
苦情受付数　　0 件

苦情解決第三者委員打合せ会議

開催日	内　容	出席者数（名）
6 月 26 日	・苦情解決委員会の概要について ・栃木県等における苦情解決の状況について ・令和 6 年度野木町社会福祉協議会の事業報告と苦情等の状況について	3

⑸ 事務局活動

法人運営事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

⑹ 財政基盤の強化

地域福祉活動の資源となる社協会費、共同募金、寄付金の募集拡充に努めた。また、介護サービス事業については、経営理念のもと効果的、効率的かつ適切で安定した事業運営に努めた。

■地域福祉活動事業及び決算額

【2,214 千円[2,036 千円]】

１　事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を深めるとともにボランティア活動への参加や支援が円滑に行われるよう育成・援助を行った。

２　主要な施策

⑴ 第２期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

令和３年度策定した『第２期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき、行政と連携のもと計画を推進するため、地域ふくし座談会（中学校区）を開催するとともに、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と計画評価のため意見交換を行った。今後は、次期計画への見直し・改善等を検討していく。

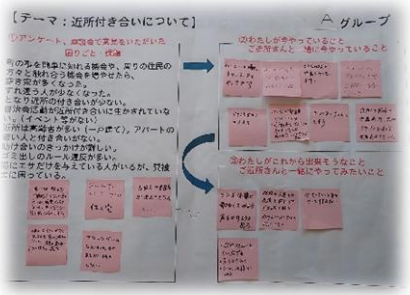
①野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内　容	参加者数（名）
2 月 17 日	・地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について	7

②地域ふくし座談会

開催日	内　容	参加者数（名）
7 月 30 日 （野木第二中学校区）	・第２期地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・脳トレゲームをやってみよう ・グループワーク「ふくしの困りごと」や「ふくし課題」に対して、自分自身や、近所の方と一緒に取り組んでいることや、今後取り組みたいことについて話し合い	21
8 月 27 日 （野木中学校区）	・第２期地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・脳トレゲームをやってみよう ・グループワーク「ふくしの困りごと」や「ふくし課題」に対して、自分自身や、近所の方と一緒に取り組んでいることや、今後取り組みたいことについて話し合い	24

グループワークテーマ
①近所付き合いについて
②防災・防犯について
③高齢の方、支援が必要な方の生活について
④地域活動、交流について



⑵　第３期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業

野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画を町と協働で改定するのにあたり、町民のニーズを把握するためアンケート調査を実施した。

調査期間	令和 7 年 12 月 1 日～令和 7 年 12 月 26 日
調査対象	町在住 20 歳以上の町民（無作為抽出）
調査対象数	2,000 人
調査内容	①福祉に対する考えについて ②近所付き合いについて ③地域での暮らしについて ④地域福祉で必要と感じる事業等について ⑤地域防災について ⑥地域活動・ボランティア活動について ⑦野木町安全・安心見守りネットワーク事業について ⑧成年後見制度について
回収結果	896 人（44.8%）

⑶　災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時において、感染症拡大予防対策も含めた災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、町・関係機関との連携を図り、被災者支援活動ができるよう ICT を活用した災害ボランティアセンター運営訓練や資機材の整備など防災力の向上に努めた。今後も、職員が災害発生時に迅速に行動し、速やかに対応ができるよう防災意識を高めていく。

①災害ボランティアセンター運営に係る資機材の整備
②野木町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル（R6.10 改訂）の検証
③野木町社協職員災害対応マニュアル（ハンドブック）（R6.10 改訂）の検証
④災害ボランティア活動ガイドブック（R6.11 改訂）の検証
⑤事業継続計画（災害時版及び感染症版）（R6.11 改訂）の検証
⑥災害ボランティアセンター運営に関する研修会（9/11,12/2）への参加
⑦災害ボランティアセンター運営訓練

開催日	内　容	参加者数（名）
1 月 17 日	・災害ボランティアセンターの概要 ・災害ボランティアセンターにおける ICT 活用【講義】 ・災害ボランティアセンターにおける ICT 活用【ワーク】 アドバイザー 栃木県社会福祉協議会 地域福祉部　地域福祉・ボランティア課　柳田　穣氏	36

⑧県境４市町社協の災害支援担当職員の定期的情報交換会の開催
⑨StockYard のぎの周知

⑷　社会福祉等のボランティア活動支援

①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町ボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動が円滑に活動できるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数（件）			加入者数（名）		
	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
ボランティア活動保険	11	8	7	497	482	428
ボランティア行事用保険	14	13	15	1,541	1,940	1,106
福祉サービス総合補償	6	6	6	145	146	140

送迎サービス補償	1	1	1	8	8	8
合　計	32	28	29	2,191	2,576	1,682

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数（件）	R5 実績	R6 実績	R7 実績
	4	3	0

（整備機材一覧）

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	スピーチオ（活字文書読上装置）	点字トランプ・UNO
パソコン	デイジー（CD 読み取り機）	音声電卓
点字板	高齢者疑似体験装着具	鈴入りサッカーボール
点字プリンター	まなび体（片マヒ疑似体験具）	視覚障害体験グラス
アンプスピーカー	アイマスク・白杖（視覚障害体験具）	車いす
プロジェクター・スクリーン	体験用点字ブロック	移動式段差解消用スロープ

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体（サークル）・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内　容
4 月 19 日	全体会・全体研修会
11 月 13 日	V 連委員視察研修会（栃木県防災館他）
定例会の開催（第 2 木曜日／年 7 回開催） 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員 13 名）され全体会・全体研修会、委員研修会等について意見交換を行った。	

全体研修会

演題：「災害時の上手な薬の使い方について」

講師：ピノキオ薬局　江波戸　美典氏

社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年度 3 月 31 日現在）

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
団体数（団体）	11	11	11
個人ボランティア数（名）	48	50	53

（ボランティア団体）

No.	名　称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力

3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌他をＣＤに録音し、視覚障がい者等に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業への参加協力、施設での読み聞かせ活動
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大ＯＢ会 野木支部	各種福祉関係事業への協力・研修等
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力
7	野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
8 9	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 のぎコスモス YOSAKOI 桜	
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動
11	のぎまちづくり ネットワーク	野木町を少しでも良くするため､町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動

（ボランティア団体以外の活動一覧）

No.	名　称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」の配達に協力し、ひとり暮らし等高齢者宅に昼食のお弁当を届け、安否確認や交流を図る活動
2	事業協力活動 ハンディキャップ体験学習支援活動	各種福祉関係事業への協力、町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導活動

・初心者向け手話講座

講師　小山市聴覚障害者協会

開催日	内　容	受講者数（名）
10 月 17 日	名前を覚えましょう 指文字を覚えましょう	3
10 月 24 日	趣味などを覚えましょう	3
10 月 31 日	ミニ講義（障がい者の生活）・復習	3
11 月　7 日	住所・交通方法を覚えましょう	2
11 月 21 日	会話・まとめ	2

・初心者向け朗読講座

講師　朗読の会「のぎく」

開催日	内　容	受講者数（名）
10 月　8 日	朗読のための呼吸法 発声・発音	4

10 月 15 日	声に出して読んでみよう	4
10 月 22 日	表現力をつけよう	4
10 月 29 日	表現力　ステップアップ	4
11 月 12 日	広報を読んでみよう	3

・初心者向け傾聴講座

講師　栃木県カウンセリングセンター　宗崎　知子氏

開催日	内　容	受講者数（名）
1 月 13 日	「傾聴」ってどんなこと？ 普通の会話との違い	7
1 月 20 日	「傾聴」のポイント 練習してみましょう	6
1 月 27 日	「傾聴」を実生活に活かす 実践から学ぶ	8

③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校７校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校　（全７校）
実施した主な活動内容	アルミ缶回収／古紙回収／緑の募金／ペットボトルキャップ回収／手話･点字の学習／ハンディキャップ体験／クリーン活動／ふれあい活動／伝承あそび／その他

・福祉教育推進連絡会議の開催（年３回）

開催日	内　容	出席者数（名）
6 月 26 日	・令和７年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	11
11 月 20 日	・地域福祉新聞について	11
1 月 30 日	講義「聴覚障害の方の生活について」 講師　小山市聴覚障害者協会　　松井　智恵氏 落合　直美氏 ・地域福祉新聞（校正）について	13

・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊（共同募金配分金事業）

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、配布した。

発行日	内　容
2 月 25 日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・福祉セミナー：手話講座 「聴覚障害の方の生活について」

・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内　容	場　所
6 月 18 日	車いす・アイマスク・高齢者疑似体験学習支援（4 年）	友沼小学校
6 月 23 日	手話・点字体験学習支援（4 年）	新橋小学校
6 月 24 日	車いす・アイマスク体験学習支援、 赤い羽根について（4 年）	新橋小学校
7 月 16 日	手話・点字体験学習支援（4 年）	南赤塚小学校
9 月 13 日	手話・車いす・アイマスク体験学習支援	野木第二中学校
9 月 30 日	手話体験学習支援（4 年）	友沼小学校
10 月 16 日	点字体験学習支援（4 年）	友沼小学校
10 月 17 日	福祉について、手話体験学習支援（4 年）	野木小学校
11 月　4 日	車いす・アイマスク体験学習支援（4 年）	野木小学校
12 月　1 日	人権集会 手話・点字・車いす体験学習支援	佐川野小学校

・小学生ボランティアスクールの開催

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会
公益財団法人東日本盲導犬協会
栃木県ボッチャ協会

開催日	内　容	受講者数（名）
7 月 23 日	・福祉講座（手話・点字・朗読学習） ・ハンディキャップ体験 （車いす・アイマスク・片麻痺体験）	13
7 月 24 日	・盲導犬についてのお話、歩行体験 ・ボッチャ体験	13

・ボランティアサマースクールの開催

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会
介護老人保健施設ひまわり荘、新橋児童館、社会福祉法人パステル

開催日	内　容	受講者数（名）
8 月 18 日	・福祉講座（手話・点字・朗読学習） ・ハンディキャップ体験 （車いす・アイマスク・片麻痺体験）	9
8 月 19 日	・施設交流活動（介護老人保健施設ひまわり荘）	8
8 月 20 日	・施設交流活動（新橋児童館）	3
8 月 21 日	・施設交流活動（社会福祉法人パステル）	3
8 月 22 日	・「福祉用具」体験 ・ふりかえり	9

⑸　福祉機器（車いす）の短期貸出事業の実施

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出しした。

貸出件数（件）	R5 実績	R6 実績	R7 実績
	70	81	69

⑹　地域（子ども）ふくし・思いやりプロジェクト

子育て世帯に対し、寄贈されたお米等を提供し生活を支援した。

開催日	内容	世帯数	場所
12 月 15 日 ～20 日	クリスマスプレゼント （日用品とお菓子を配布）	※28 世帯	町老人福祉センター （ホープ館）

※町内の関係機関と連携し、就学援助制度の対象者や生活に関する相談に来られた子育て世帯の方を対象

⑺　フードドライブ事業の実施

生活困窮者に対し生活改善につながる相談支援や福祉サービスにつなげるため、家庭・企業で余った食品を回収し、町フードバンク等へ提供等を行うことによりその生活を支援した。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
受付件数（件）	30	60	65

⑻　緊急食料等給付事業の実施

低所得者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、生活に必要な食料等の現物を給付することにより、世帯の自立更生を促し、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう支援した。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
件数（件）	0	0	0

⑼　一時お預かりサービス事業の実施

高齢・障がい等により一時的に金銭管理ができない方に対して金銭管理を行い、安心して生活ができるよう支援した。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
件数（件）	4	5	1

⑽　福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務･事業支援内容
野木町老人クラブ連合会（えんじゅクラブ野木）	ｽﾎﾟｰﾂ、ﾚｸﾘｪｰｼｮﾝ、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を図った。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会（団体・個人含）	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	地域生活支援講習など地域における奉仕活動の推進を図る活動を行った。

⑾　その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
件数（件）	0	1	1

■福祉サービス利用援助事業及び決算額

【1,551 千円[1,290 千円]】

1　事業の概要

高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

【実施したサービス内容】
福祉サービス利用援助：福祉サービスに関する情報提供や相談、利用の申し込み等
日常的金銭管理サービス：日常生活上の生活費の管理、支払い代行、生活費のお届け等
書類等預かりサービス：預貯金通帳・印鑑、年金証書・保険証書等の預かり等
【専門員数】　　登録者２名（実サービス提供担当者１名）
【生活支援員数】　登録者８名（実サービス提供担当者４名）

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
利用者実人数（名）	20	22	20
定期支援件数（件）	326	369	368
相談援助等件数（件）	315	514	459
契約件数（件）	8	6	1
解約件数（件）	4	3	1

■法人後見事業及び決算額

【171 千円[318 千円]】

１　事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として後見業務を行える体制を整えた。

２　主要な施策

⑴　法人後見運営委員会

成年後見人経験者等の専門家で構成する法人後見運営委員会を設置し、適正な後見事業を行える体制を整えた。また、司法書士による成年後見に関する個別相談会や成年後見普及啓発講演会を開催し、成年後見制度のＰＲ活動をした。

第 1 回法人後見運営委員会（令和 7 年 7 月 17 日開催）		出席者数(名)
内容	・法人後見等の受任の申立に関する審査について	6

第 2 回法人後見運営委員会（令和 8 年 2 月 5 日開催）		出席者数(名)
内容	・法人後見等の受任ケースの報告について	6

・法人後見受任状況

類　型	R5 実績	R6 実績	R7 実績
後　見	0	0	1
保　佐	0	0	0
補　助	0	0	0
合　計	0	0	1

・類型終了件数

類　型	R5 実績	R6 実績	R7 実績
後　見	0	0	1
合　計	0	0	1

・司法書士による成年後見に関する個別相談会

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
開所回数（回）	1	2	1
相談件数（件）	2	3	2

・成年後見普及啓発講演会

開催日	内　容	参加者数（名）
1 月 28 日	「エンディングノートを使った終活セミナー」 講師　一般社団法人　社会福祉士事務所にじみる 社会福祉士　高田　美保氏	78

■共同募金配分金事業及び決算額

【2,604 千円[1,605 千円]】

1　事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

2　主要な施策

⑴　広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぽけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行など広報活動を行い、事業のＰＲとネットワークの構築を図った。

・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数（名）	場所
9 月 6 日	式　典 （表彰者） ・民生委員・児童委員　3 名 ・ボランティア活動功労（個人）　2 名 （感謝状）　5 団体 第 1 部 「災害に強いまちづくり」 ～能登半島地震の復旧・復興への取り組みについて～ 講師　米沢　智秀氏 第 2 部 TCG フルートオーケストラによるチャリティーコンサート	234	野木町文化会館 （日東工業エニスホール）

・地域福祉新聞…年１回（2 月）発刊

発行日	学校名等	記事内容
2 月 25 日	友沼小学校	・チューリップの球根植え ・４年福祉体験 ・人権集会
	野木小学校	・ハンディキャップ体験（アイマスク・車いす） ・手話体験 ・野木ケアセンターそよ風の訪問を通して ・福祉についての講話 ・認知症サポーター養成講座
	佐川野小学校	・人権集会　福祉体験 ・認知症サポーター講座
	南赤塚小学校	・チューリップ植え ・点字・手話体験 ・伝統文化体験
	新橋小学校	・学校行事　ふれあいウォークラリー ・４年総合「心のバリアフリー」 ・新橋小学校のみんなに福祉を広げよう
	野木中学校	・募金活動 ・アルミ缶・古紙回収 ・資源回収金について ・人権講話
	野木第二中学校	・ビックアート ・手話講座 ・認知症サポーター養成講座
	・手話サークル「虹の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・福祉セミナー：手話講座「聴覚障害の方の生活について」 ・地域福祉新聞とは	

⑵　高齢者の社会参加

町内在住７５歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会を開催し、当事者同士の交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
11 月 27 日	町老人福祉センター （ホープ館）	33 名 ・講話 「だまされない栃木県」

		～特殊詐欺等の手口と対策～ 講師　栃木県くらし安全安心課 関口氏・中嶋氏 ・フレイル予防（音楽療法） 音楽療法士　茂呂　京子氏 伴奏　野平　龍一氏

⑶　世代間交流事業

児童と地域の高齢者が行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10 月 23 日	高齢者・園児とのお楽しみ交流事業（芋ほり）	法得幼稚園児 老人クラブ会員 20 名	川田地域
11 月　5 日	高齢者・園児とのお楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 20 名	野木幼稚園

⑷　児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校７校に支援・助成を行った。

■社会福祉基金事業及び決算額

【425 千円[604 千円]】

１　事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

・善意の寄付受入について（基金指定）

預託内容	R5 実績	R6 実績	R7 実績
寄付件数（件）	8	8	7
寄付金額（円）	559,915	599,331	397,248

■資金貸付事業及び決算額

【40 千円 [116 千円]】

1　事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
貸付件数（件）	21	21	6
償還件数（件）	35	10	7

資金の種類・貸付件数（件）	R5 実績	R6 実績	R7 実績
生活一時資金	11	14	4
医療・介護一時資金	4	4	2
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	6	3	0
合　計	21	21	6

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【6,360 千円[5,888 千円]】

1　事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウィルスの影響により生活費が不足した方を対象とした特例貸付の借受人及びその世帯に対し、面談や訪問等によるフォローアップ事業を実施した。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
相談件数（件）	36	10	18

資金の種類・貸付件数（件）	R5 実績	R6 実績	R7 実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	1	0	1
福祉資金(緊急小口資金)	0	0	0
教育支援資金	1	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
合　計	2	0	1

※生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）は R4.9 末に終了

・フォローアップ支援状況

件数（件）	R5 実績	R6 実績	R7 実績
電話（受電）	18	21	45
電話（架電）	66	113	71
訪問	4	51	19
来所による窓口対応	67	59	54
償還免除申請	3	1	0
償還猶予申請	7	0	3
その他のフォローアップ支援	・生活状況アンケート実施（年２回　５月・10 月） 現在の生活や仕事状況を把握するとともに生活に困っている方に対しては寄付された乾麺やインスタント食品、お米の入った応援ボックスを配布した。		

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【7,682 千円［7,691 千円］】

１　事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

２　主要な施策

⑴　ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談内容	相談員
心配ごと相談	毎月第１水曜日 10:00-12:00	日頃の悩みなど 日常生活について	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員
法律（弁護士）相談	毎月第３木曜日 10:00-12:00	財産・扶養・土地・金銭貸借・賠償・離婚などの問題に関する相談	弁護士
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	ボランティア保険の加入や社会福祉支援活動に関する相談	社協職員
生活資金・地域福祉権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	生活資金や日常金銭管理に関する相談	社協職員
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護や介護保険（サービス）等に関する相談	地域包括支援センター職員

【心配ごと相談】

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
開所回数（回）	12	12	12
相談件数（件）	1	3	4

【法律相談】

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
開所回数（回）	12	12	12
相談件数（件）	47	48	46

【介護相談】

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
相談件数（件）	342	247	317

・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員研修会

開催日	内　容	参加者数(名)
1 月 27 日	研修　「野木町総合サポートセンターひまわり館の概要と相談対応」 講師　野木町総合サポートセンター センター長　横山　幸博氏	4

⑵　デジタル活用支援講習会（スマホ教室）の開催

スマートフォンの普及によりデジタル活用の不安となっている高齢者等を支援するため、教室を開催し、IT に対応した社会づくりを促進した。

開催日	内　容	参加者数(名)
6 月　5 日	スマートフォンの基本操作を知ろう！	12
6 月 26 日	スマートフォンのボタン操作、画面の見方、文字入力（音声入力）	12
12 月　4 日		16
12 月 11 日	体験　ＱＲコードを読み取ってみよう！	12

■外出支援サービス事業及び決算額

【226 千円[112 千円]】

１　事業の概要

町内に居住し６５歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
利用者実人数（名）	8	3	8
移送回数（回）	49	17	50

■配食サービス事業及び決算額

【1,755 千円［1,786 千円］】

１　事業の概要

町内に居住する６５歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により毎日の調理が困難な方に対し、お弁当の宅配（毎月４回　金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】　配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。
【配食協力者（ボランティア）人数】　４３名

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
利用者実人数（名）	65	68	67
配食数（食）	2,014	2,313	2,272

■居宅介護支援事業及び決算額

【26,497 千円［30,517 千円］】

１　事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要支援・要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、利用者・家族の抱えている複雑な課題等に対して適切な相談支援を行い、より良質なサービスが受けられるようケアマネジメントを実施した。

【介護支援専門員数】　５名

・居宅サービス計画（ケアプラン）作成

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
作成件数（件）	1,368	1,561	1,043

要介護度	R5 実績	R6 実績	R7 実績
要支援１	154	151	113
要支援２	143	184	147
要介護１	437	588	362
要介護２	306	295	236
要介護３	137	106	48
要介護４	142	187	106
要介護５	49	50	31
合　計（件）	1,368	1,561	1,043

・要介護認定調査

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
調査件数（件）	3	1	0

・事業所内研修・訓練（本会職員）

開催日	内　容	参加者数（名）
10 月 16 日	①高齢者虐待防止に関する研修 ・動画研修 ・講義「権利擁護事業・成年後見制度の理解」 説明　地域福祉係職員 ②介護現場における感染対策について ・動画研修 ・情報交換 ③事業継続計画（災害時版）の初動対応（BCP 発動含）訓練	21

■老人福祉センター管理運営事業及び決算額

【16,507 千円［15,957 千円］】

１　事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

２　主要な施策

⑴　野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
開所日数（日）	337	332	343
利用者総数（名）	17,951	20,564	18,409

※老人福祉センター利用者数等別表による。（Ｐ３１参照）

⑵　生きがい講座の開催

町内に在住する６０歳以上の方を対象に健康維持・増進と文化教養の向上を図るため各種講座を行った。

・生きがい講座（令和７年６月～１２月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
やさしいヨガ講座	12	1	13	14
若さを保つ貯筋運動	24	4	11	15
アロマテラピー講座	6	0	8	8
ﾄﾞﾗｲ･ﾌﾟﾘｻﾞｰﾌﾞﾄﾞﾌﾗﾜｰ講座	7	0	6	6
合　　計	49	5	38	43

⑶　第 20 回老人ペタンク大会・第 45 回老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5 月 21 日	ペタンク	74	丸林中央公園 グラウンド
9 月 25 日	輪投げ グラウンドゴルフ 玉入れ	151	あじさい公園 グラウンド

■地域包括支援センター事業及び決算額

【69,610 千円[66,914 千円]】

１　事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

２　主要な施策

⑴　地域包括支援センターの運営

【専門職員数】９名

社会福祉士	２名
保健師・看護師	３名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	４名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
総合相談	342	247	317
認知症相談	78	35	54
権利擁護相談	12	9	14
虐待相談	16	7	14
介護認定申請等	106	124	136
福祉用具住宅改修理由書作成	29	24	19
関係機関への連絡・調整等	4,075	4,154	4,407
緊急通報装置	18	19	19
見守りキーホルダー	16	10	10
その他	109	148	128
件数（件）	4,801	4,777	5,118

※その他については、安否確認、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行った。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内　容	参加者数（名）
5 月 16 日	講話「見よ　看よ　さらに観よ」 講師　臨済宗建長寺派　報恩寺　住職 臨済宗連合各派布教師　伊藤　賢山氏	20
8 月 21 日	講話「ケアマネの仕事範囲 ～業務外の仕事について考える～」 講師　きぬの里在宅介護支援センター 管理者　渡辺　真一氏	17
11 月 20 日	講話「高齢者の自殺予防について」 講師　ヒトらぼ代表 とちぎ県南こころの相談室副理事長 澤根　慎児氏	18
2 月 25 日	講話「高次脳機能障害について」 講師　栃木県障がい者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課 増渕　静枝氏 栃木県高次脳機能障害ピアサポーター 中野　和子氏	18

④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
作成件数（件）	4,092	4,031	4,123

⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

⑥出張講座の開催、広報・啓発活動

高齢者等の安心した日常生活を維持できるよう、健康づくりや介護・介護予防に資する知識の普及・啓発を行うことを目的に、各種専門知識をもった職員等が地域内の団体やサロン等の集まりの場に出向き、講座を開催した。また、高齢者の方が大切な人へもしもの時に備えて、必要な情報をまとめたノート「結び帳」を希望の方に配布した。

講座名	実施延べ回数	受講延べ人数
「認知症」講話	3	29
あなたを守る制度～高齢者の権利擁護～	1	15
運動教室	18	273
「福祉用具」体験会	3	38
「終活」セミナー	3	40
「介護保険」の案内	2	36
脳トレゲーム	8	101
合　　計	38	532
ふれあいサロン（９か所)、老人クラブ（３か所)、その他（４か所）		

エンディングノート「結び帳」の無料配布　　２９８冊
（R7 年度実績）

エンディングノート「結び帳」とは
　高齢者の皆さまが人生を振り返り、自身の情報や希望等をまとめ、残しておくもの。

（A４サイズ　全 40 ページ）

■生活支援体制整備事業及び決算額

【4,013 千円[3,958 千円]】

１　事業の概要

介護保険法に基づき、地域における自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に係る体制整備を行った。 また、高齢者を主に、つながりの中で助け合いながら、住み慣れた地域で自分らしく生活できるまちを目指し、地域住民と一緒に地域の困りごとや、生活課題などについて考え、支え合いの地域づくりを推進した。

２　主要な施策

⑴　生活支援コーディネーターの設置

地域のニーズ把握や地域のサービス主体との連携調整等のコーディネーター機能を担うため生活支援コーディネーターを配置した。

⑵　協議体の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置した。

第1回野木町生活支援体制整備事業「第1層協議体」会議 （令和8年2月27日開催）		出席者数(名)
内容	・生活支援体制整備事業の活動経過報告 ・地域支え合い会議から見えてきたことと今後の取り組み ・協議・情報交換	11

⑶　地域支え合い会議の開催

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、各地域の住民同士や関係団体が情報共有やアイデア出しを行うことで、地域の人々がつながり、活躍できるきっかけの場として支え合い会議を開催した。

開催日	内　容	参加者数(名)
10月29日 （新橋区）	・生活支援体制整備事業及び地域包括ケアシステム概要 ・地域支え合い会議について「ご近所付き合い」の現状 ・グループワーク「ご近所付き合いについて」 ～何のために「ご近所付き合い」は必要なの～	16
12月15日 （丸林西区）	・生活支援体制整備事業及び地域包括ケアシステム概要 ・地域支え合い会議について「ご近所付き合い」の現状 ・グループワーク「ご近所付き合いについて」 ～何のために「ご近所付き合い」は必要なの～	12

⑷　ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは対応できないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	R5実績	R6実績	R7実績
登録利用会員数（名）	76	93	98
登録協力会員数（名）	34	36	31
活動件数（件）	209	256	266

	R5実績	R6実績	R7実績
生活空間の掃除及び整理整頓	89	164	197
生活必需品等の買い物	27	21	6
話し相手	30	4	0
身の回りの世話	1	0	0
散歩、施設等への付き添い	9	0	17
家具、家電の移動	5	4	4
その他（ごみ捨て・調理等）	48	63	42
活動件数（件）	209	256	266

⑸ 主な活動

研修会等への出席	県･県社協研修会や近隣市町５社協担当職員の定期的情報交換会へ参加することにより､生活支援体制整備事業の運営や生活支援コーディネーターの役割と活動内容の情報収集を行った。
会議等への出席	地域における高齢者の生活支援体制整備を進めるために､関係する機関が実施する各種会議等に参加した。
地域活動への支援	高齢者を支える活動を行なう団体等の支援を行った。
高齢者への個別生活支援	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等で､福祉や介護サービス利用の対象にならないなどの課題について､各関係機関との連携を図りながら相談や支援を行った。
啓発活動	事業の周知・理解のための広報活動や説明会を開催した。

・地域支援活動の担い手育成講座の開催

地域において高齢者を支える担い手の発掘・育成のための講座を開催した。

開催日	内　容	受講者数（名）
3月4日	・高齢者の支え合い活動やボランティア活動例 （町内の福祉ボランティア活動について） ・住民参加型在宅福祉サービス（ふれあいサービス） 説明者　生活支援コーディネーター 協力会員　三浦　邦昭氏 森元　万里子氏 ・配食サービス 説明者　地域福祉係職員 配食ボランティア　舘野　仁美氏 恵面　和美氏 ・その他のボランティア活動	25

■デマンド交通運営事業及び決算額

【24,515 千円[19,518 千円]】

1　事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシー（R8.2-AI システム）の導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市）
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、８月１３日～１６日、 １２月２９日～１月３日は運休
運行便	午前８時～午後５時（※運行は随時対応）
運行台数	４台（セダン車２台、ワゴン車２台）

利用料金	１回（片道） 大人（中学生以上）３００円、子供（小学生以下）２００円 ７５歳以上　　２００円、３歳未満　　無　　料
予約受付日・時間	（電話予約） 月曜日から金曜日　午前８時から午後５時 ※土曜日、日曜日、祝日、８月１３日～１６日、 １２月２９日～１月３日は除く （Web 予約） ７日前より予約可能　午前２時から午後１１時５０分 ※当日予約については、午後３時３０分まで
備　考	○小学生単独乗車（R4.1 月末から実施） 【利用条件】１．必ず保護者から利用予約をすること ２．保護者の責任において利用すること ○キラ輪号連絡ヘルプカードの利用（R4.2 月末から実施） ※予約時など電話連絡が難しいと感じる方が携帯し、キラ輪号へ電話する際に周囲の人にお願いをするためのカード ○運行便・運行台数の変更・予約方法の追加（R8.2 月から変更）

	R5 実績	R6 実績	R7 実績
運行日数（日）	240	239	239
利用者数（人）	10,024	10,181	10,547
平均／１日（人）	41.8	42.6	44.1
新規登録者数（人）	201	208	253
免許返納者数（人）	42	57	60
小学生単独乗車数（人）	37	116	271
予約方法（電話予約）			1,723(83.6%)
予約方法（LINE・WEB 予約）			337(16.4%)

※予約方法（電話・LINE・WEB 予約）については、R8.2-3 月までの数値

■日本赤十字社活動と共同募金活動

⑴　日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

①日赤会員増強運動の実施（５月）
②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
③災害等による被災地への義援金等の受付
④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（５月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
会　　員	7	15	8	14,000	31,000	16,000
協力会員（寄　付）	6,386	6,206	5,830	3,086,847	3,007,955	2,828,320
合　　計	6,393	6,221	5,838	3,100,847	3,038,955	2,844,320

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
能登半島地震災害義援金	1	7,980
令和７年大船渡市赤崎町林野火災義援金	1	1,096

⑵　栃木県共同募金会野木町支会事務局

①赤い羽根共同募金運動の実施（１０月）
②災害等による被災地への義援金等の受付
③県共同募金会事業募金百貨店プロジェクトの援助

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間１０月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績
戸別募金	6,236 世帯	5,977 世帯	5,740 世帯	2,487,473	2,381,400	2,268,664
街頭募金	1 ヶ所	1 ヶ所	1 ヶ所	36,230	29,697	34,500
職域募金	2 ヶ所	3 ヶ所	3 ヶ所	9,604	14,237	13,683
法人募金	21 社	22 社	23 社	109,952	150,218	192,676
設置募金箱	9 ヶ所	14 ヶ所	16 ヶ所	6,031	17,407	16,562
個人募金	1 件	3 件	0 件	500	12,454	0
自販機募金	2 ヶ所	2 ヶ所	2 ヶ所	37,854	32,727	34,190
イベント募金		1 件	3 件		11,400	33,700
募金百貨店プロジェクト		1 件	1 件		14,340	7,500
利　　息				5	6	653
合　　計				2,687,649	2,663,886	2,602,128

■その他の支援活動（リサイクル関連）

①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
③使用済み切手収集の国際協力支援

令和7年度　野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書（令和7年4月～令和8年3月）

	開所日数（日）	利用者総数（人）	無料者数（人）	有料者数（人）	利用料金額（円）	有料利用者の内訳（人）						1日平均利用者数（人）	利用団体数（団体）
						町内者			町外者				
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数		
令和7年4月	29	1,548	1,530	18	800	10		9	8		6	53	165
令和7年5月	27	1,510	1,493	17	1,800	8		8	9		3	55	152
令和7年6月	30	1,763	1,731	32	2,400	13		13	19		11	57	171
令和7年7月	26	1,471	1,416	55	800	15	26	40	14		12	56	155
令和7年8月	30	1,418	1,333	85	1,400	31	43	73	11		7	47	132
令和7年9月	30	1,496	1,440	56	1,800	47		47	9		3	50	141
令和7年10月	30	1,508	1,471	37	2,000	23		22	14		8	50	176
令和7年11月	30	1,447	1,391	56	600	50		50	6		4	48	149
令和7年12月	30	1,479	1,376	103	800	58	39	96	6		4	49	152
令和8年1月	27	1,621	1,596	25	500	21		20	4		3	60	162
令和8年2月	24	1,362	1,336	26	700	21		19	5		4	57	147
令和8年3月	30	1,786	1,686	100	500	90	6	95	4		3	60	183
合　計	343	18,409	17,799	610	14,100	387	114	492	109	0	68	54	1,885

＊　上記有料利用者数の内訳には減免の為免除されている人数を含んでいます。